

富士のさと 訪問おはなし広場と自然遊び塾(出前講座)

〇趣旨

幼児期における自然体験や本に親しむ機会を増やし、自然のもので遊んだり触れたりする活動を通して、豊かな人間性を築く基礎を培うとともに、体験活動の重要性の普及を図る。

〇訪問した御殿場市内の幼稚園(8園)・保育園(13園)・こども園(2園)

御殿場幼稚園、富士岡幼稚園、竈幼稚園、神山幼稚園、原里幼稚園、原里西幼稚園、森之腰幼稚園、玉穂幼稚園、東保育園、西保育園、原里第1保育園、原里第2保育園、玉穂第1保育園、玉穂第2保育園、高根第1保育園、高根第2保育園、高根学園保育所、すみれ保育園、富岳保育園、双葉保育園、みらい保育園、印野こども園、神山認定こども園

〇活動の流れ

1つの活動を基本20分間(5歳児の箸づくりは45分間)とし、3つの活動をローテーションで実施

	開始～0:20 (20分間)		0:30～0:50 (20分間)		1:00～1:20 (20分間)
3歳児	絵本の読み聞かせ (室内)	移動 (10分間)	削り華(かんなくず)を使った活動 (室内)	移動 (10分間)	身体を動かす活動 (室外)
4歳児	すべラップづくり (室内)		身体を動かす活動 (室外)		絵本の読み聞かせ (室内)
5歳児	身体を動かす活動 (室外)		絵本の読み聞かせ (室内)		箸づくり【※45分間】 (室内)

〇内容(活動の様子)

(1) 絵本の読み聞かせ 運営: 御殿場市立図書館ボランティア

図書館ボランティアが年齢に応じて自然に関する内容の絵本を選定し、読み聞かせを行った。自然に対する興味・関心を持たせるように、大型絵本を用いたり、語りかけるような口調で読み聞かせをしたりすることで、園児たちは、絵本の世界にのめり込み、話に耳を傾けていた。



(2) 自然のものを使った創作活動 運営: 中央青少年交流の家職員

5歳児には「箸づくり」を、4歳児には「すべラップづくり」を、3歳児には「削り華(かんなくず)を使った遊び」を実施し、発達段階に応じた創作活動を行った。「箸づくり」は、かんなどで木を削り、箸の形にした後、紙やすりで仕上げを行った。「すべラップづくり」は、紙やすりを使って木の表面をつるつるに磨き、最後にストラップの紐を通した。3歳児の「削り華(かんなくず)を使った遊び」は、木のくずに触れたり、匂いを嗅いだり、長さを比べたりすることで、言語活動につながるようなしかけを行った。また、園によっては削り華を用いた簡単な創作をし、園児たちは五感を使って自然の素材を楽しんだ。

活動の最後には、年輪(木の年齢)の話をし、木もみんなと一緒に生きていることを伝え、作ったものだけでなく、身近な自然や自分自身そしてお友達といった命あるものを大切にする気持ちを育むようにした。

【箸づくり】



【すべラップづくり】



【削り華を使った遊び】



（３）体を動かす活動 運営：中央青少年交流の家職員

園庭に「丸太や切り株」・「スラックライン」・「ロープ」をサーキットコースに見立てて設置した。「丸太渡りやスラックライン」では、園児は手を広げてバランスをとり、落ちてもしっかりとあきらめることなく何度も挑戦した。「ロープ引き」は、一端を固定遊具等に結び、自分の腕の力でロープを引っ張り、体を引き寄せ遊ぶ遊びで、「丸太渡りやスラックライン」とは違う動きに挑戦した。毎年行っている活動であるので、楽しみにしている園児も多かった。「手は繋がなくてもいいよ。」「今年は自分ひとりで渡れた。」「〇〇ちゃん、ひとりで渡れたね。」と、成長を実感した園児や園の先生方も多数いた。また、待っている間は活動している友達を「がんばれー！」と応援することを促し、仲間を思いやる気持ちを育むようにした。

単に体を動かす活動をするだけでなく、丈夫な体を作るためには、運動の他にも「早寝・早起き・朝ごはん」といった規則正しい生活習慣が大切であることを園児に伝えた。

【丸太渡り】



【スラックライン】



【ロープ引き】



《園からの声》

- 大型絵本は内容が子供たちに伝わりやすく、とても嬉しそうでした。
- 丸太渡りをする中で、平らな面がなく不安定な物だということを知ったり、どうしたら落ちることなく渡れるのかを考えたりしながら体を動かす姿が見られた。
- 五感を使った活動で、教師も楽しんでできました。
- 活動後、鉛筆を見ながら「これも木でできているね。」と気づき、棚や床など「これも木だ。」と木で作られているものを探して楽しんでいました。
- 削った箸にサラダ油を塗って、いつもご飯を食べていると保護者の方に聞きました。とても楽しく、嬉しかったようです。
- 年長児は、スラックライン・箸削り、共に挑戦する要素や魅力があったことで「ひとりでやってみる！」「もう一回やりたい！」という意欲的な姿が見られました。

《成果と課題》

- 園の満足度が95%を超え、園との良好な関係が築けている。
- 日常的に関わることの少ない、自然を取り入れた活動を経験することができる。また、交流の家の職員が指導することにより、園児も新鮮な気持ちで活動に取り組める。
- 創作活動や体を動かす活動についての職員研修を継続して行い、指導できる職員数を増やす。
- 遠足などで、当施設を利用してもらおう中で、本事業の活動を組み入れていく。